

16 未来に続く魅力あるまちづくりの推進について

【国土交通省】

長野県の状況

●未来に続く魅力あるまちづくりの推進

・まちづくりを県総合5か年計画のプロジェクトに位置付け、UR都市機構との包括協定締結や、公民学が連携した「信州地域デザインセンター」の設置により、県が積極的に関与して市町村を支援し、魅力あるまちづくりを推進する

取組

- 県内27箇所**都市計画道路の整備**を推進中
- 個性を活かした、魅力とにぎわいのある**都市公園の整備**を推進
- 公・民・学が連携し、市町村の魅力あるまちづくりを支援する「**信州地域デザインセンター（UDC信州）**」を開設



オープニング式典



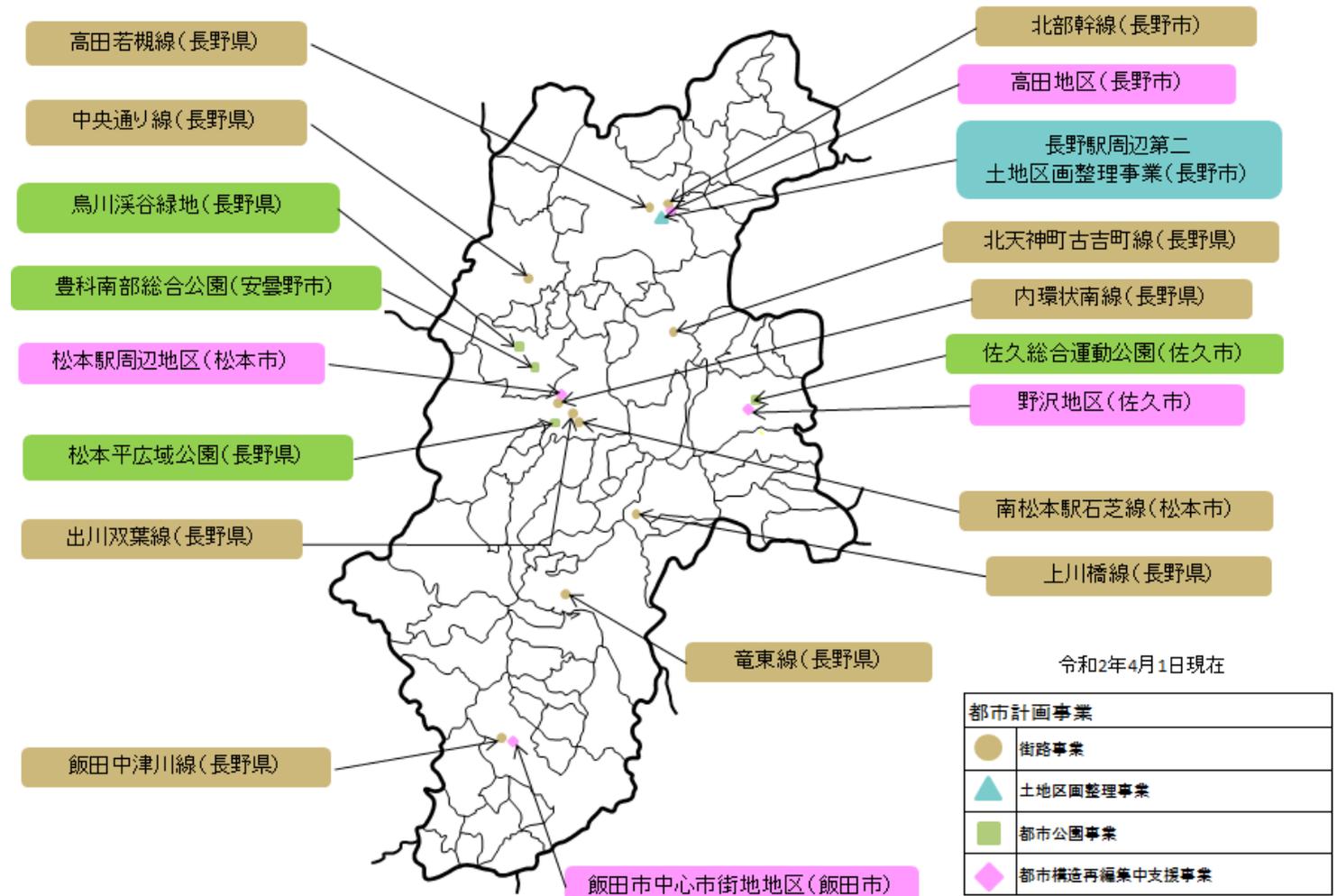
UDC信州事務所の様子

- 2028年に、**第82回国民体育大会、第27回全国障害者スポーツ大会**を開催予定

- 住宅・建築物のアスベスト対策を推進するため、吹付けアスベスト含有調査・除去等に対して支援を実施

- 空き家対策として、「空き家対策セミナーの開催」・「市町村へ専門家の派遣」など、市町村の取組へ支援を実施

主なまちづくり整備箇所



課題

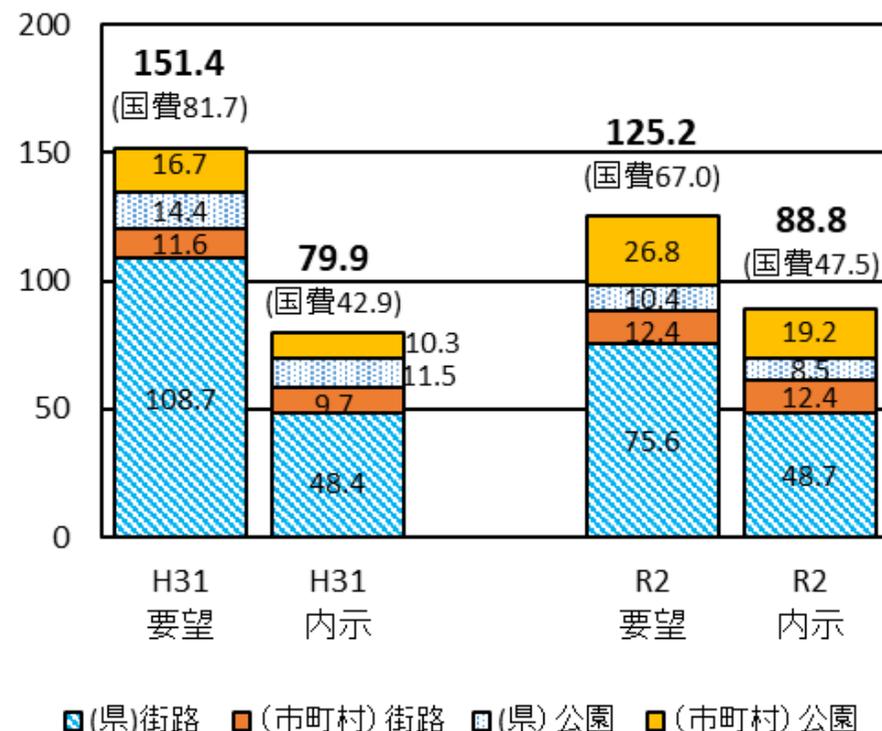
- 都市計画道路や都市公園整備、市町村のまちづくりに必要な財源が不足し、供用開始が遅れるなどの支障
- 国民体育大会の安全な開催、円滑な運営に向けて、総合開・閉会式場及び各競技会場となる都市公園の運動施設の整備、老朽化した施設の改修が必要



松本平広域公園陸上競技場
(昭和52年度供用開始)
国体総合開・閉会式場及び
陸上競技会場に決定

- アスベストを使用した建築物の解体等が、今後ピークを迎えるため、対策が不可欠
- 所有者・相続関係人が不明の「空き家」が増加し、保安上危険な状態等の空き家対策が早期に必要

(億円) 交付金予算の状況



提案・要望

1 安全で快適な都市空間の確保のための予算措置

都市計画道路や都市公園の整備推進、市町村が進める都市構造再編集中支援事業など、まちづくりに必要な予算を確保すること

2 第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催に伴う施設整備への支援

国体総合開・閉会式場及び各競技会場の施設整備に必要な予算を確保し支援すること

3 住宅・建築物アスベスト改修事業の期限延長

令和2年度末までが着手期限とされている「住宅・建築物アスベスト改修事業」について、改めて財政措置を講じること

4 所有者不明の特定空家等の危険除去のための補修及び一部解体に対する財政措置

空き家対策総合支援事業に、所有者不明の特定空家等の危険除去のための補修及び一部解体に対する財政措置を講じること